

特別支援学校生徒による花壇づくり

メルヘン活動の一環で花いっぱい事業を行っており、主要な事業に花壇づくりを据えています。花苗の育成から植え付け、さらに水やりや花がら積みなど、夏秋用と冬春用の花苗を育てていると、年中、何らかの作業が必要になります。

その中でも、種から花苗を育てて、花壇やプランターに植え付ける大事な作業を東俣野小学校の児童が行って来ました。そこに今年度から東俣野特別支援学校高等部の皆さんも参加してくれることになりました。

花苗づくりでは先輩になる東俣野小学校のピロティーの下で、児童たちが苗用トレイで種から育てた苗をポットに植え替える作業から加わることになりました。

作業場である小学校までは車椅子に乗って移動します。植え替えは担任の先生と一緒に車椅子のトレイの上で行いました。教室を離れた外での作業なので、皆さん嬉しそうに目を輝かせながら作業してくれました。



花の植え付けにも展望台脇の花壇まで車椅子で参加しました。どのように参加できるのか心配しましたが、担任の先生方の手助けで車椅子を下りて、自らがスコップを手にして植え付けてくれました。

小学校の児童たちは、手元に運んだポットから花苗を抜き取り、高等部のお兄さんに渡していました。2校の協働作業で無事に花壇やプランターへの花植えも完了できました。



作業してみて残念に感じたのが、プランターに植え付けるための作業台がなかったことです。あれば高等部の生徒たちももっと活躍できたと思います。それにつけても、小学校の児童たちとの協働作業が思いのほかスムーズに行えたので、今後の活動に期待が持てました。

みんなで植え付けた花壇の花苗は大きく育ち、花いっぱいの花壇として公園利用者の目を楽しませています。

